



旭川市立神居東小学校 学校だより

# ぬくもり

旭川市神居1条17丁目 Tel 62-2932

令和2年 11月 4日発行 第7号

## 諦めない心

校長 澤田 匡史

「かがやき合い 心の手をつなごう 東っ子！」

児童会で、子どもたちが話し合っただけで決めた今年度の学習発表会のテーマです。子どもたちは、このテーマのもと、心をひとつに練習に取り組みました。学習発表会では、それぞれの学年がこれまでの学校生活での「学びの成果」をステージで十分に発揮できたと思います。これまでの「学びの成果」とは、「文章を読み取る力」や「音読や身体表現、演奏、歌唱などの表現力」、「学んだことをまとめる力」などです。

そして、さらに大きな学びは、学年の友達との関わり合いを通し、「友達と協力すること」や「自分を知り、友達を理解すること」、「最後までやり抜く力や諦めない心」などです。学習発表会はまさにこれまでの学校生活で培った力の総合的な発表の場でした。

当日は、保護者の皆様にご参観いただき、堂々と「学びの成果」を発表することができました。子どもたちの発表の後には、会場の皆様から大きな拍手をいただき、子どもたちにとって、大きな励みになりました。学習発表会に向けて頑張ってきたこと、そして、大勢の皆様から大きな拍手をいただいたことは、子どもたちにとって、大きな達成感として心に残る最高のステージになったことと思います。保護者の皆様には、練習への励まし等をいただきましたことに感謝申し上げます。



以前、ある新聞の記事で本当の才能とは「諦めない心」という言葉が紹介されていました。自分の夢や目標が成就できる最後の「とりで」が「諦めない心」であり、先天的な才能より重要であるということでした。諦めなければ、夢が叶う可能性は飛躍的に向上するそうです。多くの方が成就しないのは、途中で諦めてしまうからだそうです。

シドニーオリンピック女子マラソンの金メダリストである高橋尚子氏は、「長い階段を一気に上がろうとすると途中でへばってしまう。しかし、一段ずつでも確実に上がっていけば、時間はかかっても頂上まで上がることができる。」と話されていました。

子どもたちは、「音読が苦手」「漢字テストに合格できない」「鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏が難しい」など、思うように成果が上がらず「自分には無理だ」と途中で諦めて、前に進む努力をやめてしまいがちです。

しかし、そうなる前に明確な目標をもたせ、適切な支援のもとに成功体験を積み重ね、達成感や成就感を味わわせながら「諦めない心」を少しずつでも育てていくことが、私たち大人の責任なのだろうと思います。

学習発表会やマラソンなどの取組を通して、改めて「諦めない心」の大切さについて考えさせられました。

